

RUN伴2026 福岡市 coming soon !



RUN伴(ランとも) とは

RUN伴とは認知症の人や家族、支援者、一般の人が少しずつリレーしながら一つのタスキをつなぎゴールを目指す全国プロジェクトです。

私たちが目指す「認知症になっても安心して暮らしていけるまちづくり」は、地域に暮らす人たちがお互いを知り、それぞれが考え、そして同じビジョンを描きながらつながり合うことから始まります。あなたの暮らす地域の人たちと出会い、お互いをもっと知り合うことで、認知症について考える機会としませんか？

福岡市エリアでは、『認知症であっても なくても安心して暮らせる まちづくりを応援します』を合言葉に、誰もが住みやすいまち、そして皆さん自身が幸せに暮らしていける、きっかけづくりのソーシャルアクションを行います。

開催日：令和8年10月31日（土）

※博多区の一部のルート、城南区は11月7日（土）開催

認知症の人が活躍

RUN伴は認知症の人が主役です。

認知症になっても出来ることは人それぞれなので、参加スタイルは歩きや車椅子、応援のみもOKです。

ご家族やお友達と、お揃いのTシャツを着て、みんなでワイワイ楽しんでください。認知症の人のパワフルな姿は、周囲も元気にしてくれます。



地域の人との出会い

RUN伴に参加することで、初めて認知症の人と出会う人もいます。参加者同士がご近所で顔見知りになることもあり、『RUN伴で一緒だった〇〇さん』と道ですれ違うこともあるとか。

日常での声掛けが広がれば、認知症の人や家族にとって、普段の暮らしに安心がプラスされます。

地域が動き出す

まちとまちをつなぐRUN伴は、普段の生活道路を通るため、ランナーの休憩所やタスキの中継地点など、開催に向けて地域の協力が欠かせません。

準備を進めるうちに、『自分が認知症になっても、このまちで暮らせるために日頃から何が出来んだろう』と地域づくりについて集まる機会が増えるまちも出てきています。



認知症の当事者の方やご家族の温かい応援団

『認知症になったら終わりだ』なんていうのは一昔。

認知症があっても、正しい理解とちょっとした助け合いがあれば、『あきらめることよりも、やれることが多くなる』

みなさんの、普段からの温かい声や手助けが、認知症の方や懸命に介護をしているご家族の勇気や力になるのです。私たちが認知症になっても安心して暮らせる『まち』を一緒につくってみませんか？

主催：RUN伴福岡市実行委員会

後援：福岡市 福岡県 (社福)福岡市社会福祉協議会

(公財)認知症の人と家族の会福岡県支部